

令和元年 5 月 23 日

各 位

大和エネルギー・インフラ株式会社

北海道函館市恵山地熱発電事業に係る JOGMEC 助成金採択について

北海道函館市恵山において、地熱開発を計画する 3 社共同事業者:大和エネルギー・インフラ株式会社(東京都千代田区、代表取締役社長 松田守正)、株式会社レノバ(東京都中央区、代表取締役社長 CEO 木南陽介)、シグマパワーホールディングス合同会社(東京都港区、職務執行者 中谷哲也)は、当地での地熱資源の資源量調査実施にあたり、令和元年 5 月 20 日に独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)より、「平成 31 年度地熱発電の資源量調査事業費助成金交付事業」として採択を受けましたので、お知らせいたします。

大和証券グループは、昨年より代表執行役社長 中田誠司を委員長とした『SDGs 推進委員会』を設置し、グループ横断的に SDGs への取り組みを進めております。函館市恵山地熱発電事業への参画は、国連が掲げる持続可能な開発目標(SDGs)における「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」、「住み続けられるまちづくりを」、「気候変動に具体的な対策を」に資するものと考えており、本取り組みを通じ、当社グループは再生可能エネルギー事業を推進するとともに、SDGs 達成に向けて注力してまいります。

記

1. 地熱資源調査の概要

- 調査エリア 北海道函館市恵山
- 調査内容
 1. 坑井掘削:地熱資源量を把握するための井戸を掘削
 2. 坑井地質調査:掘削した地質を分析、確認
 3. 物理検層:掘削した井戸の特性を把握するための各種測定および試験
 4. 地質総合解析:得られた結果をもとに地熱資源量を評価し、今後の開発計画を立案
 5. モニタリング:周辺温泉および河川の成分測定(2015 年度より継続測定)

JOGMEC 発表資料 :<http://www.jogmec.go.jp/content/300362255.pdf>

2. SDGs 17 の目標 ※本件は以下 3 つの目標に資するものです。

【目標 7】: エネルギーをみんなに、そしてクリーンに

地熱発電への投資を通じた再生可能エネルギーの導入を推進します。

【目標 11】： 住み続けられるまちづくりを

地域分散型電源として、将来的なスマートシティ構想の実現に寄与します。

【目標 13】： 気候変動に具体的な対策を

非化石電源への投資を通じて CO₂ の発生を抑制し、地球温暖化防止に寄与します。

以 上